

丹波市 地域おこし 協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

環境保全や自然教育に取り組む

尾形 真依子さん vol.53

経歴：兵庫県三田市出身。東京で営業職を経験後、子育てを機に自然に魅せられて丹波市へ移住。

任期：令和3年10月～



今年は子どもたちと自然遊びを展開するだけでなく、先生に対して自然遊びの実地研修をしたいと考えていました。そして9月には丹波地域のこども園の先生に向けて、人と自然の博物館にご尽力を頂いて、身近な植物の観察や植物を使った自然遊びをする研修が実現しました。ホームページで活動報告させていただきますので、ぜひ見に来てください。

また、新たに青垣町神楽地域で里山づくりにも挑戦しています。この取組には二つの目的があります。

一つ目は、微力ながら里山づくりを行い、色んな植物や虫、食べ物が集まる、生物多様な場所を作ること。二つ目は子どもたちが

思う存分、里山で遊ぶことができる環境を作ることです。こちらについても私のインスタグラムやホームページで随時掲載していきます。里山づくりに興味がある人や知見を持っている方がいらっしゃれば一度、のぞきにきてください。



神楽地域の森で、木の皮をむくきらめき間伐をすることもたち



ホームページ



おがちゃん
LINE

市長・林時彦の 時を駆ける



紺綬褒章伝達式を行いました

信金中央金庫様は、創立70周年記念事業として、企業版ふるさと納税制度を活用し、各地の信用金庫様と連携して地域活性化に取り組む地方公共団体に寄附をされています。

丹波市では、市民が誇りを持って「帰ってこいよと言えるまちづくり」に向けて、数多くの子育て支援施策を展開しており、それらの取組に共感をいただきました中兵庫信用金庫様からの推薦を得て、令和2年度に同事業に採択され、1千万円の寄附をいただきました。

市の取組に対して、中兵庫信用金庫様からの後押しをいただけたことは、これからのまちづくりを進めていくにあたって大変心強く感じているところです。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄附した個人・法人に対して、国から贈られるもので、このたび私が心から感謝の意を込

めて代読し、伝達を行いました。採択されました「みんな子育て応援プロジェクト」は、数ある子育て支援の取組の中から制度の趣旨にあったものをひとつのパッケージとしてとりまとめたいものです。いただいた寄附金は、妊娠・出産・子育てを応援するため、多くの地元企業様の協力を得て、妊娠期から2歳ごろまでの間に利用いただける市内産品をまとめたハッピーバス応援ギフトの贈呈や青垣児童公園、水分け公園の遊具設置や整備に活用させていただきました。子育て支援策としましてはこのほかに、昨年からは、第1子、第2子が生まれたときは10万円、第3子以降は50万円の出産祝い金を贈呈しています。また、今年からは高校生世代の医療費無料を実施しています。

これからもすべての子育て世代と子どもたちが安心して暮らせるよう、子育て支援策の充実に向けて取り組んで参ります。

丹波市長 林 時彦